

情報発信ステーション

第133号



社会医療法人 緑社会
金田病院

● みどり訪問看護ステーション
● 指定居宅介護支援事業所みどり

公益財団法人

日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定施設

公益社団法人 日本人間ドック学会

〒719-3193 岡山県真庭市西原 63

TEL (0867) 52-1191(代) FAX (0867) 52-1917

http://www.kaneda-hp.com

脳ドックのご案内

当院では、昭和58年に岡山県北部で初めて人間ドックを開始しました。平成17年には、岡山県第1号の「日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定施設」となりました。健康寿命の延伸を人間ドック健診の社会的使命と考え、安心して受診していただけるよう努めてまいりました。

また、人間ドックのオプションとして、日本脳ドック学会のガイドラインに基づいた脳ドックも行っています。脳ドックの検査項目は、脳MRI、脳血管及び頸部血管MRA、頸部血管超音波検査、ダブルットを用いた認知機能検査です。脳ドックの判定は、人間ドックと脳ドックの結果を合わせて脳神経外科専門医が総合的に判定し、受診当日結果をご説明します。画像検査は、脳神経外科専門医、放射線科専門医によるダブルチェックを行い、詳しい結果報告書を後日お送りします。脳ドックによって発見できるのは、無症候性脳梗塞、脳腫瘍、未破裂脳動脈瘤及びその他の脳血管異常、脳萎縮の程度等です。特に、くも膜下出血の原因である脳動脈瘤や脳動脈静脈奇形の早期発見には、脳MRA(脳MRI血管撮影)が極めて有用です。

私たちは、これからも人間ドック健診、脳ドックを通して、病気の早期発見だけでなく生活習慣病や認知症の予防、皆さまの健康寿命延伸のお役に立ちたいと願っています。

お問い合わせ先

金田病院 人間ドック健診科
電話(0867)52・1469(直通)

「世界糖尿病デー」

世界の糖尿病人口は4億2500万人とされています。一般的には糖尿病が死に至る病気とは考えにくいのですが、実は世界中で糖尿病の合併症が原因で亡くなる方が年間400万人以上います。これは、8秒に1人が糖尿病に関連する病気で亡くなっている計算です。

世界に広がる糖尿病の脅威に対応するため、1991年にIDF(国際糖尿病連合)と世界保健機関(WHO)は11月14日を「世界糖尿病デー」に制定、2006年に国連総会で公認されました。毎年この日を中心に、世界規模で啓発活動が行われています。

当院でも、11月15日に玄関フロアにおいて、糖尿病委員会による啓発活動が行われました。会場では医師(糖尿病専門医)、薬剤師、看護師、



臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士(うち、糖尿病療養指導士5名)が各専門分野について情報提供しました。

糖尿病の予防・治療の目的は、健康寿命の延伸つまり元気で長生きすることです。健康診断や人間ドックの受診によって兆候を早期に発見し、生活習慣を改善して糖尿病を未然に予防することが大切です。また、現在治療の方は早期から適切な管理を継続的に行うことで、合併症や重症化の予防が可能です。糖尿病の脅威とそれに対応する活動の重要性について、私たちスタッフも再認識する貴重な機会になりました。

今月の地域医療研修医師 (五十音順)



岡山赤十字病院
かまだ 理子



川崎医科大学総合医療センター
みつい 康次郎

今月の学生実習 (五十音順)

○岡山大学 医学部 医学科	1名
○川崎医科大学 医学部 医学科	1名
○新見公立大学 健康科学部 看護学科	4名
○姫路獨協大学 医療保健学部 言語聴覚療法学科	1名

平成 29 年の標語 「繋がる心 繋がる地域 繋がる未来」

緑社会の理念
金田病院の理念
金田病院の基本方針

- 奉仕・仁愛・誠実・研鑽・調和
- 医療を通じて地域社会と職員の幸福に貢献します
- 安全で良質な医療を提供します
- 期待される役割を果たします
- 連携を一層推進します
- 職員が笑顔で働ける病院を目指します

